

## 審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	令和元年 11 月 25 日（月曜日）14 時～16 時
開催場所	立川市役所本庁舎 1 階 101 会議室
次第	1. 立川市第 2 次環境基本計画の中間見直しについて ①環境基本計画 アクションプランの見直し ②立川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直し 2. たちかわし環境ブック 2019 について
配布資料	（事前配布） 資料 1. 立川市第 2 次環境基本計画アクションプラン見直し一覧表 資料 2. 立川市第 2 次環境基本計画見直し案 資料 3. 立川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）骨子 資料 4. 立川市第 2 次環境基本計画見直しスケジュール 資料 5. たちかわし環境ブック 2019（案）
出席者	〔委員〕 会長 原 剛、和田 信行、八木 和夫、齋藤 孚彦、甲野 毅、 山下 英俊、中島 孝昌、中村 裕、宗野 喜志、吉岡 正司、 田中 良明(敬称略) 〔事務局〕 小宮山 克仁（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、 八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、 桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）
公開及び非公開	公開
傍聴者数	0 人
会議結果	1. 立川市第 2 次環境基本計画中間見直しについて ・アクションプランの見直しについて意見をいただいた。 温暖化対策に関連するアクションプランについて、前回の計画 より後退している。是非、見直しを検討してほしい。 その他、多くの項目について質疑応答が行われた。 ・立川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直しについて、 内容の確認が行われた。 2. たちかわし環境ブック 2019 について ・主に特集について意見をいただき、要望について検討を行う。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

## 第 11 期 第 7 回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和元年 11 月 25 日（月曜日） 14 時～16 時

開催場所 立川市役所本庁舎 101 会議室

出席者〔委員〕会長 原 剛、和田 信行、八木 和夫、齋藤 孚彦、甲野 毅、  
山下 英俊、中島 孝昌、中村 裕、宗野 喜志、吉岡 正司、  
田中 良明（敬称略）

〔事務局〕小宮山 克仁（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、  
八谷 俊太郎（環境推進係長）、柚木 正史（環境指導係長）、  
桜井 優（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

### 1. 立川市第 2 次環境基本計画の中間見直しについて

①事務局よりアクションプランの見直しについて説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

#### ○委員意見

- ・基本方針 1 の本文中にある「そこで」という代名詞について、具体的に内容を記載した方がわかりやすいのではないかと？  
⇒見直し対象箇所ではないが、修正できるか検討する。（事務局）
- ・パーク＆ライドを昔実施していたが、現在はどうなっているのか？  
⇒現在は行っていない。イケアなどの開業時に、公共交通利用の呼びかけなど実施。事業者側の協力が必要になる。（事務局）
- ・コミュニティバスの再編を行っているが、現状について知りたい。  
⇒収支を重視して見直しを行っている。今後は、福祉的観点から再編を考える。（事務局）
- ・根川は、大人なら散歩を楽しめる場所であるが、子どもが水に入ることが出来るなど親しみやすくできないかと？  
⇒子どもが水に入ることの出来る場所が少ないのは事実。根川の水は衛生的に問題はないが、下水の再処理水なので、水に入るとは推奨しにくい。（事務局）
- ・公園は、子どもの自発性を育み、自己責任を身につける重要な場所である。規制が少ない方が子どもには良い。
- ・ボール遊び等近隣の理解が得られないことも多い。規制として残すべきものと緩和するものとの検討する必要がある。
- ・公園の遊具は、どこも同じようなものが設置されているが、何か定められているのか？
- ・特に定めはない。遊具事故が多発したときに取り外したのものもある。要望のある遊具も設置している。  
⇒公園緑地課に意見があったことを伝える。（事務局）

- ・地球温暖化やプラスチック汚染など全体を通じて、危機感が伝わるような文言が必要ではないか？  
⇒見直し案の冊子第1章5年間の動向で、説明が出来ればと考える。(事務局)
- ・再生可能エネルギーの設備、機器設置の補助は、予算的に厳しいので、周知に重点を移すのか？
- ・公共施設における再生可能エネルギー等の導入検討の項目で、環境学習や防災面での活用の文言が削除されているが、重要なのでは？
- ・温暖化対策の内容が、前の計画より後退している。  
⇒市として何が出来るのか模索中。後退のイメージがなくなるように文言について修正する。
- ・温暖化対策について、表現だけではなく、市としての具体的な施策を示さないといけない。現状では、あまりにも計画として弱い。  
⇒具体的な内容を記載できるよう検討する。(事務局)
- ・「モノレール駅周辺などに自転車駐車場の整備を進めます」というアクションプランや他のアクションプランで自転車通行（走行）空間の確保という文言が削除されているが、重要な項目ではないか？  
⇒モノレール駅周辺の自転車駐車場の整備は終了、西武線沿線はこれからも必要なもので、表記について工夫する。  
自転車通行（走行）空間は、法律上で文言の統一が図られたため変更になっている。アクションプランの内容としては従前と変わりはない。(事務局)
- ・地球温暖化対策として、市が出来ることが限られていることは承知しているが、温暖化対策についての重要性を計画の中に全般的に取り入れてほしい。
- ・大雨による災害で、損害保険料が値上げされること、台風19号による大雨は温暖化の影響によると気象庁が見解を示していることなど立川市民にとっても温暖化の影響を直接受けている。現実の経済活動が温暖化の影響を受けていることを市民にアピールしてはどうか。
- ・実家が大雨の被害を受けた学生が、実家周辺でアンケート調査を行ったが、避難を早めにするなどの回答は出るものの、地球温暖化と大雨被害を結びつけられる人はいない状況である。自然エネルギーを使うことの重要性などの環境学習は大切である。RE100に取り組む企業も出てきているが、中小企業ではどういう取組をすればよいかわからない。行政側からの情報提供を行うことは重要である。  
⇒審議会での委員の意見を、アクションプラン所管の課にフィードバックし協議する。現在策定中の後期基本計画では、低炭素まちづくりがすべての事業の基本に入っているが、市全体で取り組むべき具体策や温暖化対策についての市の考えについて、理事者とも協議をしたい。すぐにできる取組と長期的な取組とがあり、5年間の計画の中では書ききれない部分もあるため表記については精査する。(事務局)

②事務局より、立川市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の見直しについて説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

○委員意見

- ・表のCO<sub>2</sub>実排出量には、電力消費によるものも含まれているのか？  
⇒含まれている。排出量の大部分を占める。（事務局）
- ・立川市のCO<sub>2</sub>実排出量が2017、2018年度に減少しているが要因は何か？  
⇒排出係数の少ない電力の導入による。（事務局）
- ・電力契約の仕様書にCO<sub>2</sub>削減項目があって、事業者の選定が行われるのか？  
⇒東京都をモデルに再生可能エネルギーの比率がいくら以上という裾切方式を採用して、事業者を選定している。（事務局）
- ・40%削減に向けて、具体的な取組を記載したらどうか。
- ・新清掃工場と街路灯のLED化により削減が可能である。
- ・新清掃工場で自家発電を行えば、電力購入が減るのは確かだが、ごみ発電では、石油由来のものも燃やされる。このような場合、数値には算定されるのか？  
⇒計算式で、算定される。非エネルギー部門として算定される。（事務局）

2. たちかわし環境ブック2019について

- ・事務局より環境ブックについての説明を行った後、各委員より意見をいただいた。

○委員意見

- ・特集はうまくまとめられている。なるべく多くの人に読む機会を与えるようにしてほしい。
- ・特集はわかりやすく論理的である。データもわかりやすい。
- ・特集4ページで海上から海に流れ出たという表現があるが、違和感がある。  
⇒海上を船上からなど修正を行いたい。（事務局）
- ・特集11ページの図は、国の数値だが、立川市の数値は出すことが出来るのか？  
⇒ごみ対策課に確認する。（事務局）
- ・特集は、中学生向けにわかりやすく作成しているなどの注釈があるとよい。
- ・特集だけで冊子にして、小中学校に配布してはどうか。
- ・身近にできる取組に、消費行動の項目を加えてみてはどうか？プラスチックでないものを購入、使用するなど。
- ・商店街の装飾灯のLED化への補助の記述があるが、自治会の防犯灯のLED化も進めてもらいたい。  
⇒協働推進課に意見があったことを伝える。
- ・データの出展を記載した方がよい。  
⇒いただいた意見を受け、記載内容を見直します。（事務局）

以上